

「受診時定額負担導入」・「TPP交渉参加」問題に関するアンケート調査の回答結果

(H23.11.9現在)

回答理由：「受診時定額負担導入」問題について
衆議院議員

選出選挙区	氏名	所属	受診時定額負担導入について(理由欄)	
3区	荒井 聡	民主党	その他	現段階では情報収集等々の最中であり、今後十分に検討したい。
5区	町村 信孝	自由民主党	反対	受診者のみに負担を求めることは、高齢者や低所得者の受診抑制につながり、健康が損なうことになりかねない。国民皆保険制度を維持していく上で、負担は幅広く公費や保険料から求めていくべきである。
6区	佐々木隆博	民主党	反対	高額療養費の負担軽減策として一定の金額を一律に患者さんから徴収する「受診時定額負担」については、高額療養費を一般の診療を受ける方から徴収することや、低所得者から高額所得者まで一律に徴収することなど、国民皆保険制度の根幹を揺るがす問題である。社会保障の財源は、保険料の見直しや税制改革などで確保すべきである。
7区	伊東 良孝	自由民主党	反対	患者負担の新規負担増は避けるべきだ。
8区	逢坂 誠二	民主党	反対	・患者の方に受診時に定額負担を上乗せすることで、特に低所得者や高齢者の受診抑制につながる恐れがあるから。 ・患者にだけ負担させるのではなく、「保険」が相互扶助である以上、保険料で一律に負担すべきと考えるから。
11区	石川 知裕	無所属	反対	国民皆保険制度の趣旨から考えると、財源は社会保険料や公費負担の見直しによって確保すべきと考えるため。
12区	松木 謙公	無所属	反対	定額制を導入すれば、低所得者などの生活弱者が受診を控えるようになりかねません。国民すべてが必要な医療を受けられるという世界に誇るべき日本の国民皆保険制度の理念と反するものであり、絶対反対です。弱者へのしわ寄せが大きい消費税増税などと並び、弱者いじめの悪政に他ならないと考えております。TPP参加を進めれば、混合診療の拡大が懸念されます。いずれも、「医療も金次第」という格差社会を招きかねない深刻な問題で、断固阻止しなければと決意を固めています。
比例代表	山崎 摩耶	民主党	反対	高額療養費の負担軽減策の財源として考えるようなことではない。また患者の自己負担は、法の本則に基づいて行うものでもある。
	武部 勤	自由民主党	反対	受診者のみに負担を強いるものであり、安易に導入すべきでない。 公的保険である以上、財源は幅広く保険料や税財源に求めるべきであり、弱い患者の方々や受診回数が多い高齢者を中心に外来の負担を増やして受診を抑制させたとうえで、それを高額療養費に回そうというのは、国民皆保険制度の精神に反するもの。
	今津 寛	自由民主党	反対	今回示された「受診時定額負担」については、導入後の水準の引き上げや、高齢者や低所得者の受診抑制や負担増につながる恐れや、2006年6月の健康保険法改正付帯決議における給付範囲維持に抵触する可能性もあり、高額療養費の負担軽減の財源については幅広く保険料や公費に求めるべきである。

選出選挙区	氏名	所属	受診時定額負担導入について(理由欄)	
比例代表	稲津 久	公明党	反対	02年の改正健康保険法の付則には「将来にわたって7割の給付を維持する」と明記されている。つまり「3割以上にしない」と法律で決まっている。その負担を超えることは看過できず、誰もが病院に来るたびにプラス100円の負担をすることになると、本来は医療が必要な人も受診を控えてしまい、受診抑制が増えれば、重症化してからの受診につながる可能性がある。

参議院議員

選出選挙区	氏名	所属	受診時定額負担導入について(理由欄)	
北海道	伊達 忠一	自由民主党	反対	国民皆で支えあう健康保険であるのに、別の病気で治療中の患者さんに負担を求めるのは理屈に合わない。
	長谷川岳	自由民主党	反対	国民皆保険という制度がある中で患者さんだけに負担させるのはどうか。患者だけが負担するのではなく、国民全体で高額療養費を賄っていくことが大切である。
	徳永 エリ	民主党	反対	これ以上負担が大きくなると、病気になっても病院に行けない人たちが増えてくる。国民年金を受給している方たちの中には、3万、4万という年金で生活をしている人たちが沢山いる。百円というお金の負担をわずかと見るか、受診ごとに徴収されて生活の大きな負担と見るか、政府は弱い立場にある人たちに目を向けるべき。病院にとっても経営に関わってくる(受診者の減少)。

北海道議会議員

選挙区定数	氏名	所属	受診時定額負担導入について(理由欄)	
空知総合振興局	釣部 勲	自民党・道民会議	反対	高額療養費の負担軽減策の一つとしての「受診時定額負担」は、むしろ医療費の増嵩になり、反対。
	荒当 聖吾	公明党	反対	更なる負担増には反対です。
後志総合振興局	中村 裕之	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	村田 憲俊	自民党・道民会議	反対	我が国の医療保険制度における患者の自己負担の割合は、先進諸国に比べても極めて高い水準にある、そのような中で更なる患者負担を強いる。
胆振総合振興局	神戸 典臣	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
日高振興局	藤沢 澄雄	自民党・道民会議	その他	各方面よりご意見を聴取中です。将来に向けて、医療、福祉の充実と、負担の在り方を相互的に検討してまいります。
渡島総合振興局	富原 亮	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
檜山振興局	福原 賢孝	民主党・道民連合	反対	「受診時定額負担」には反対、どんどんエスカレートする恐れが大であり、患者の負担が増えるから。
	竹内 英順	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
上川総合振興局	本間 勲	自民党・道民会議	反対	高齢化社会に入り老人の医療が大きな社会問題となっています。特に老人は少しの体の異状を早期に手当しなければなりません。
	北口 雄幸	民主党・道民連合	その他	社会保障のあり方について、「保障と税(負担)」についてもっと国民と議論すべきだ。
留萌振興局	工藤 敏郎	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
宗谷総合振興局	三好 雅	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	高橋 文明	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
オホーツク総合振興局	日下 太郎	民主党・道民連合	反対	受診時に医療機関の窓口で支払う定率の患者負担に加えて、更なる負担を強いることは、低所得者や高齢者等にとっては大きな負担となり、受診抑制やそれに伴う症状の重症化など国民の健康に多大な影響を及ぼすことが懸念されるため反対である。
十勝総合振興局	大谷 亨	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	喜多 龍一	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	佐々木恵美子	民主党・道民連合	反対	患者負担を今まで以上に強いることになるとともに、経済的理由により受診抑制となり、症状の重篤化を招くことも懸念される。絶対反対です。
釧路総合振興局	池本 柳次	民主党・道民連合	反対	抜本的に見直し検討すべき。中・長期の計画を立て、国民的な理解と合意が必要と思うからです。
	小松 茂	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
釧路総合振興局	岡田 篤	民主党・道民連合	その他	民主党本部で現在検討中で、年末までには党内の意見を集約する予定ですが、単純に患者の負担増につながるものには慎重に対応すべきと考えます。
	中司 哲雄	自民党・道民会議	反対	低所得者が診療を受けることをためらうのではという懸念があり、等しく医療を受ける権利を奪うことにつながり反対。但し、医療機関を渡り歩くことは、総医療費抑制の観点から何らかの歯止め策は必要と思います。

選挙区定数	氏名	所属	受診時定額負担導入について(理由欄)	
札幌市中央区	千葉 英守	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	小林 郁子	民主党・道民連合	反対	現在は、非正規労働者が国民健康保険料を払えない状況や、道内においては、医療資源の偏在により医療格差が生じている。一方で、医療圏ごとの医療機関連携を整備していないことによる無規則な受診もある。こうした医療問題解決への道筋を示さないまま、医療費高騰解消策だけを論じることには納得できない。
	段坂 繁美	民主党・道民連合	反対	改悪の第一歩になる。
札幌市北区	道見 重信	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	吉川 隆雅	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	向井 昭彦	民主党・道民連合	反対	経済的に豊かではない人たちの負担となり、病院にかかりにくくなることが考えられるため。
札幌市東区	大崎 誠子	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	包國 嘉介	公明党	反対	取り易い所から取るという理念も哲学も感じられない改革案であるから。
札幌市白石区	伊藤 条一	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	広田まゆみ	民主党・道民連合	その他	全体の制度設計を見て判断したい。医療にどこまで求めるのか。“看取り”のあり方を含め、根本議論が必要。死亡率はすべての人間に等しく100%。先進・高度医療も非常に重要だが、“死に方”について、税をどこに投入するかについてより根本的な議論が必要であり、そうした議論を医師連盟にも期待します。
	森 成之	公明党	反対	病気などで通院している患者の方に対して更なる負担を求めることには反対である。
札幌市厚別区	花崎 勝	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	伊藤 政信	民主党・道民連合	反対	先進的な技術や薬剤を使用することにより、病気が治ったり、回復する時代になりましたが、高額療養を受ける患者の負担軽減のために負担を求めることは筋違いと考えます。保険料や税で賄うべきと考える。
札幌市豊平区	高木 宏壽	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	吉田 祐樹	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	松山 丈史	民主党・道民連合	反対	自民党政権下での医療政策の失敗のツケを現政権が被る必要はない。定額負担はある意味逆進性が強い。
札幌市清田区	岩本 剛人	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	梶谷 大志	民主党・道民連合	反対	窓口負担の増加により、高齢者をはじめとする弱者に大きな負担となり、受診抑制につながる。自己負担の軽減が必要と考えるため、反対。
札幌市南区	丸岩 公充	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)

選挙区定数	氏名	所属	受診時定額負担導入について(理由欄)	
札幌市 西区	和田 敬友	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	道下 大樹	民主党・道民連合	反対	<ul style="list-style-type: none"> ・高額療養とそれ以外の病気治療における負担の公平性に疑問。 ・将来的に「定額」が100円よりも増額される恐れあり。 ・患者が受診を控えることにつながる。
札幌市 手稲区	角谷 隆司	自民党・道民会議	反対	受診の抑制につながり、早期発見、早期治療が困難となる。
函館市	佐々木俊雄	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	川尻 秀之	自民党・道民会議	反対	高額療養費の患者負担軽減策を行うことは賛成であるが、その財源は保険料等の見直しで捻出すべきであり、治療中の患者に更に他の患者の治療費の負担を強いることは問題であり、特に受診回数の多い高齢者等の受診抑制となる。
	高橋 亨	民主党・道民連合	反対	<p>高額療養費自己負担限度額の引き下げの財源確保を主な目的としていますが、そもそもこの定額負担は診療に対する負担ではありません。</p> <p>診療という受益に対する負担以外に患者から定額負担金を徴収するのは、本来の保険負担とかけ離れ、付け焼き刃的な制度と思います。</p> <p>初診時200円、再診時100円といわれますが、その基準の根拠はなく、一度導入すれば負担額増への道を開くことは容易に想定されます。</p> <p>また、H15年4月の健康保険法改正にあたって、自己負担については3割以上には上げないことを付帯決議にも明記しています。</p> <p>高額療養費自己負担限度額の引き下げなどは、社会保障と税の一体改革における社会保障全般の中で検討されるべきものと思います。</p>
	斉藤 博	民主党・道民連合	反対	国民皆保険制度を揺るがす大きな問題です。その病気や治療内容によって受診回数が増える患者にとっては大きな負担となります。日本医師会が指摘する通り、公的医療保険である以上、高額療養費のあり方を見直すための財源は、幅広く保険料や税財源に求めるべきであります。
	平出 陽子	民主党・道民連合	反対	それだけでなく受診を自己規制している方が多い中、受診する度に一定額負担となると、ますます受診が遠のく結果になる。予防や軽症なうちに治すことが難しくなる。
	志賀谷 隆	公明党	反対	この制度は初診であれ、再診であれ、その都度負担することになる。2002年の改正健康保険法の付則には、将来にわたり7割の給付を維持するとなっている。つまり、3割負担以上にしないことが法律で決まっている。それについては看過できない。
小樽市	八田 盛茂	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	佐藤 禎洋	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	池田 隆一	民主党・道民連合	反対	この制度を導入することにより、患者負担増と患者の受診抑制による給付費の削減を意図しており、OECD諸国に比べて高い負担をより求めることになり、問題が多い。

選挙区定数	氏名	所属	受診時定額負担導入について(理由欄)	
旭川市	東 国幹	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	加藤 礼一	自民党・道民会議	反対	日本の患者負担の割合は、諸外国と比べて、かなり高くなっており、これ以上の負担を強いるべきではない。百円との少額での導入を認めると、患者負担割合が引き上げられたようにその額が引き上げられるのは明らかだ。また国の狙いは、負担金と受診抑制による給付費の削減であり、国民皆保険制度の根幹を揺るがすことになる。
	三井あき子	民主党・道民連合	反対	低所得者の負担が増大し、病状の重篤化を招きかねない。しいては、全体の医療費の増大を引き起こす。
	吉井 透	公明党	反対	高額医療費の見直しそのものに異論はないが、受診時定額負担は、受診回数の多い高齢者や患者に負担がかかることもあり、負担金額が引き上げになっていく懸念がある。給付7割、負担3割とする健康保険法の付帯決議にも抵触する。財源は公費など別に考えるべき。
室蘭市	川畑 悟	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	滝口 信喜	民主党・道民連合	反対	経済的理由で十分な医療を受けられなく恐れあり。国民の健康に重大な影響を及ぼす。
釧路市	小畑 保則	自民党・道民会議	賛成	受診時における定額負担は患者から徴収すべきと思う。
	笠井 龍司	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	橋本 豊行	民主党・道民連合	その他	「高額療養費制度」を拡充し自己負担を一定額に抑えることは賛成しますが、病院などで毎回負担になるのは、特に年金者や低所得者のためにならないので、他の財源確保策を検討すべき(保険料、他)。
	戸田 芳美	公明党	反対	受診抑制につながる危険性がある。 02年の改正健康保険法の付則には、「将来にわたって7割の給付を維持する」と明記されており、「3割負担以上にしな」と法律で決まっている。高齢になるほど複数の病気にかかり、受診回数が多くなる傾向がある。国民の健康保持や医療費削減の観点からも問題がある。医療費は、国民全体で支え合うもの、病気の人同士で負担は望ましくない。
帯広市	小野寺 秀	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	山崎 泉	北海道・大地	反対	(未記入)
北見市	船橋 利実	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
	鳥越 良孝	北海道・大地	反対	誰もが公平に受診できるのが日本の医療制度です。受診時定額負担が導入されると、患者の負担が増え、他の医療機関にかかりづらくなることや、病院などに大きなしわ寄せが来るから。
岩見沢市	村木 中	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
網走市	佐藤 伸弥	民主党・道民連合	反対	現状100円を想定しているが、一度導入されれば、際限ない負担増になりかねないことから。受診時定額負担は、医療保険制度の根幹に関わる大きな問題であることから、議論がされていない中での導入には反対する。
留萌市	石塚 正寛	自民党・道民会議	反対	高齢者の方々や通院回数の多い方々は、受診を控えざるを得なくなることから、国民の健康・生命を脅かす恐れがある。
苫小牧市	遠藤 連	自民党・道民会議	反対	(自民党会派としての統一見解) 我が国の医療保険制度における患者の自己負担割合は、先進諸国に比べても極めて高い水準にある。 そのような中で更なる患者負担を強いることは、経済的理由で十分な医療を受けられない低所得者や、受診回数の多い高齢者等の受診抑制につながり、いわゆる手遅れを招くなど、結果として国民の健康に重大な影響を及ぼすことが懸念される。
	沖田 清志	民主党・道民連合	反対	(未記入)
	安藤 邦夫	公明党	反対	患者負担の増は、医療機関への受診を控えさせ、重篤化することにつながりかねない。
稚内市	吉田 正人	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
美唄市	柿木 克弘	自民党・道民会議	反対	理由: 自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)

選挙区定数	氏名	所属	受診時定額負担導入について(理由欄)	
江別市	布川 義治	自民党・道民会議	反対	わが国の患者一部負担割合は、先進諸国と比べても極めて高い水準にあり、患者にこれ以上の負担を強いることは、経済的な理由で満足に医療を受けられない患者を含め、受診回数の多い高齢者等のさらなる受診抑制へとつながり、症状の重篤化など健康被害を招くことも懸念され、国民の健康に重大な影響を及ぼすため。
紋別市	北原秀一郎	自民党・道民会議	反対	(未記入)
名寄市	中野 秀敏	自民党・道民会議	反対	理由:自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
根室市	松浦 宗信	自民党・道民会議	反対	理由:自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
千歳市	梅尾 要一	自民党・道民会議	反対	理由:自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
滝川市	大河 昭彦	フロンティア	反対	患者さんの負担を増やすべきではない。
登別市	堀井 学	自民党・道民会議	反対	理由:自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
恵庭市	田中 芳憲	自民党・道民会議	反対	理由:自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
北広島市	野原 薫	自民党・道民会議	反対	理由:自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)
石狩市・石狩振興局	内海 英徳	自民党・道民会議	反対	理由:自民党会派として統一見解(苫小牧市選出遠藤議員の欄参照)